

No.	010	—	3001	事務事業名	危機管理関係事業	細事務事業名	災害時保健衛生活動マニュアル作成等事務	公的関与	4						
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実		主要施策	(1) 総合的な防災・減災対策の充実						
	事業の対象	市民				根拠法令									
	事業の目的	最終的	災害時保健衛生活動マニュアル等を作成し推進することにより、市民の生命・身体等を保護し、安全・安心な暮らしのできる居住環境づくりを目指します。			今年度	災害時保健衛生活動マニュアルの作成・検討にむけ、研修や被災地支援と振り返り等を行い課題分析に努めます。								
	活動内容	①	既存のマニュアル(愛媛県災害時保健衛生活動マニュアル、医療救護活動マニュアル等)から情報収集を行います。			④									
		②	被災地支援等を通して、災害時の保健衛生活動について振り返りを行い課題分析を行います。			⑤									
		③													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
				事務の性質上指標設定になじまない。		目標									
				実績											
				目標											
				実績											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費							
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円									
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.072 人	433 千円	0.080 人	490 千円	0.072 人	449 千円							
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)	433 千円		490 千円		449 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)													
	必要性	毎年、非常災害と言われるような災害が発生しており、市が実施主体となつて行うべき重要課題です。													
	有効性	類似施策はなく、地域防災計画との整合性を踏まえた事業の実施は不可避です。													
	達成度	地域防災計画に基づいて、保健衛生活動マニュアルの整備が必要です。													
	効率性	災害時保健衛生活動について、アクションプラン等の訓練や研修受講を計画的に行っています。費用は発生しておらず、コストの削減は不要です。													
	当面の課題	災害時の対応について、発災直後、各フェーズ期、平時といった各時期に沿った研修や訓練を受講しています。災害時に必要とされる対応について、マニュアル等の整備が必要です。													
	改訂計画	災害対応人材育成研修等の研修・訓練に計画的に参加し、伝達研修等により共有を行います。													
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実		
二次評価での指摘事項	災害の種類、程度は千差万別で、オールマイティに活用できるマニュアルの作成は不可能に思われます。また、医療・救護・保健・衛生の多方面の業務を同時に担わなければならない状況で、多業務を同時にこなす想定は現実的でもありません。マニュアルは特に、初動(災害発生直後)の取組について、関係者が共通認識を持てるものができればよいと感じています。作成には危機管理部門や医療機関との連携が不可欠で、関係機関と共通認識を持ちながら作成していく必要があります。														

No.	010	—	3003	事務事業名	保健事業推進事務	細事務事業名	衛生委員関係事務	公的関与	4					
PLAN	課名	健康推進課	係名	地域保健係	電話番号	089-966-2191	メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1) 地域保健・地域医療体制の充実					
	事業の対象	区長から推薦を受け市長が委嘱した衛生委員（75名）ほか				根拠法令	東温市衛生委員設置要綱等							
	事業の目的	最終的	みんなが元気になる健康福祉のまちづくりの推進のため設置された衛生委員の活動を支援します。			今年度	衛生委員の役割や活動内容について理解が深まるよう研修を行います。							
	活動内容	①	衛生委員の委嘱、活動内容の通知及び支払い等の事務を行います。			④								
		②	年2回研修会を開催し、衛生委員の活動支援を行います。			⑤								
		③												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
				事務の性質上、指標設定になじまない。		目標								
				実績										
				目標										
				実績										
				目標										
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	衛生		費						
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		2,355 千円	2,388 千円	2,464 千円								
	計(A)		2,355 千円	2,388 千円	2,464 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.040 人	240 千円	0.142 人	871 千円	0.142 人	886 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		2,595 千円		3,259 千円		3,350 千円							
CHECK・ACTION	一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	地域の健康づくりリーダーとしての役割や地域の健康づくり活動について、研修会や活動の中で理解していただくよう努めました。												
	有効性	各種健康診査や健康講座に対して、ロコミによる受診勧奨や回覧の配布等の協力を得ることができ、受診者数のアップに繋がりました。												
	達成度	衛生委員の活動としては概ね目標を達成しています。												
	効率性	健康づくりの視点から地域づくりを進めていくためにリーダー的役割を担う衛生委員の育成は重要です。												
	当面の課題	衛生委員の細やかな活動が地域の健康づくりにつながるため、研修内容を検討していきます。												
	改革計画	任期が1年であるため、活動内容を十分理解できないまま委員交代していることも多い中、効果的に委員活動ができるよう委員研修や先駆的に進めている活動の紹介等を行います。												
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	市民の健康づくりは、行政の活動だけでは不十分で、地域における推進役として衛生委員の協力が必要です。健診や保健衛生の各種行事の市民への周知や参加勧奨や会場での運営で協力を得ており、行事が円滑に実施できています。県下では高齢化により「なり手不足」が問題となって市町もあるようですが、東温市では区の協力を得てなんとか維持できています。今後も、近隣の状況を調査し、市民の健康づくりにつながるよう各地区での活動内容を検討していく必要があります。												

No.	010	—	3006	事務事業名	食育推進業務			細事務事業名	食育推進業務・第3次食育推進計画策定業務			公的関与	1
PLAN	課名	健康推進課		係名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度			
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	(1) 地域保健・地域医療体制の充実				
	事業の対象	市民、地域、職場、学校、生産者、事業者及び行政等					根拠法令	食育基本法、東温市食育推進会議条例					
	事業の目的	最終的	第2次東温市食育推進計画の評価を実施し、3次計画を策定します。				今年度	昨年度実施したアンケート調査他の現状をふまえて第3次計画を策定します。					
	活動内容	①	東温市の食育に関する現状をとりまとめます。				④	食育推進会議を3回開催し、上記①から③について報告し、委員の意見を計画に反映させます。					
		②	アンケート調査結果等をふまえて、2次計画の評価をします。				⑤						
		③	国、県の計画をふまえて第3次計画を策定します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標		
		第3次東温市食育推進計画の策定		計画書本編及び概要版を作成する			式	目標		1			
食育推進会議開催回数		計画策定に必要な回数を実施する			回	目標	3	3	2				
						実績	3	3					
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	平成29年度に計画評価のためのアンケート調査等を実施した。30年度はそれに基づいた2次計画の評価を行い、第3次計画を策定しました。令和元年度からは第3次計画に沿って、食育推進に取り組みます。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,538 千円	1,501 千円	152 千円								
	計(A)	1,538 千円	1,501 千円	152 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.225 人	1,353 千円	0.278 人	1,704 千円	0.200 人	1,248 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		2,891 千円	3,205 千円	1,400 千円								
一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	縮小
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	食育は行政以外の機関も実施しているが、横断的な取り組みや実施機関同士の連携を推進するために市が取りまとめる必要があります。												
有効性	事業実施主体の目的や内容が計画と一致しないものがあり、次期計画を推進しながら、整合性を調整していきます。												
達成度	2次計画の指標は達成できていないものの、改善がみられている項目が多くあります。												
効率性	食育に関する事業を効果的に実施するために、食育推進会議で情報交換や協議をしていきます。												
当面の課題	食育に関連する分野は幅広く、関係機関が取り組む事業等も多岐にわたっており、事業の目的や内容が計画推進に直接つながりにくい。2次計画の評価、3次計画策定作業は終了したため、今後は計画推進のみを実施します。												
改訂計画	平成30年度に策定した第3次計画を軸に、食育推進会議で関係機関で実施する食育事業が見直されるよう働きかけます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	3次計画策定業務は終了しましたが、食育の啓発やその他の取り組みは現状を維持し推進していく必要があります。食育推進会議において、行政の取り組みと並行して、市民レベルで食育が実践されるよう、関係機関の意識が高まれば素晴らしいと感じます。市民の健康の保持増進や生活習慣病について考えたとき、食育は継続しなければならない業務で、根気強く啓発を続ける必要を感じます。												